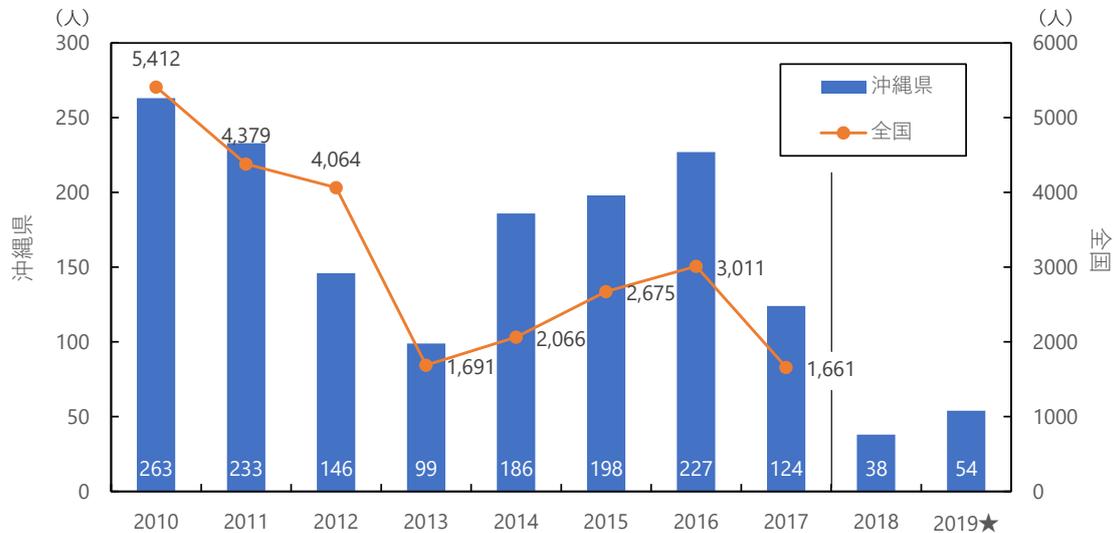


百日咳の発生動向(2010年～2019年第26週現在)

百日咳とは急性の気道感染症です。いずれの年齢でも罹患しますが、1歳以下の乳児が罹患すると亡くなることもあります。感染するとかぜ症状からはじまり、次第にけいれん性の咳(痙咳)がでます。この咳は百日咳に特徴的なもので、連続的な短い咳と、笛のような息の吸い込み音があります。

1 報告数の推移

沖縄県の報告数は、全国の推移とともに上下しています。100人から300人のあいだで報告されており、2017年は定点医療機関56件で124人でした。全数報告となった2018年は38件でした。

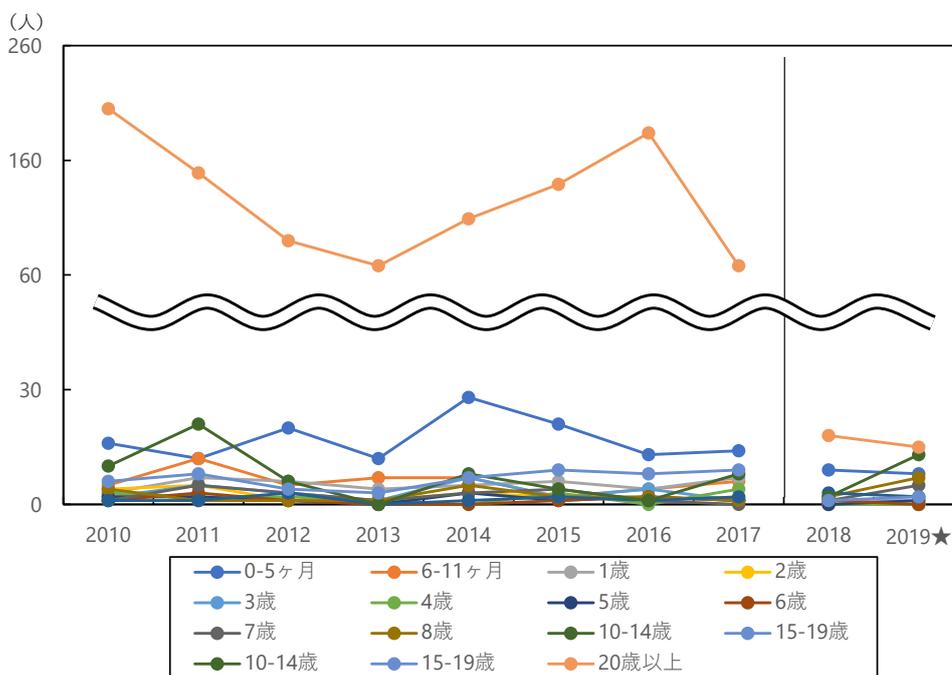


※2010年から2017年までの報告数は、沖縄県、全国いずれも小児科定点におけるものです。2018年から全数報告です。

★2019年第26週の報告数は速報値です。

2 沖縄県の年齢階級別報告数の推移

2010年から2017年までにおいて、20歳以上の報告数は他の年齢階級よりも多いです。20歳未満ではおおむね0-5ヶ月が多いです。

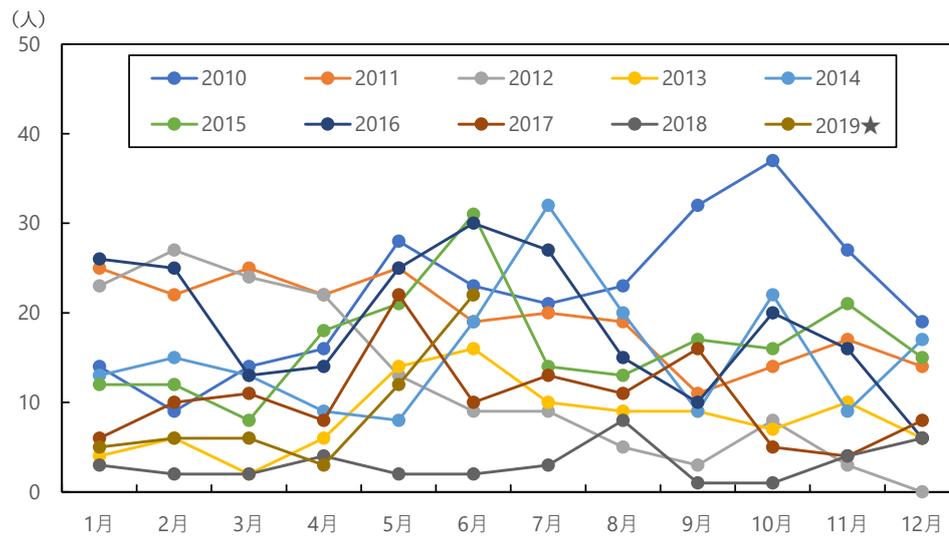


※2010年から2017年までの報告数は小児科定点におけるものです。2018年から全数報告です。

★2019年第26週の報告数は速報値です。

3 沖縄県の月別報告数の推移

いずれの年もほとんどの月で報告があります。特に流行する月はありませんが、報告の多い年と少ない年の差があります。



※2010年から2017年までの報告数は小児科定点におけるものです。2018年から全数報告です。

★2019年第26週の報告数は速報値です。